

第7回 天神川河川整備懇談会 議事要旨

開催日時：令和5年11月14日（火）10:00～12:00

場 所：倉吉河川国道事務所 1階 会議室（Web会議）

1. 開会

- ・倉吉河川国道事務所所長 挨拶
- ・委員長 挨拶

2. 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）について

- ・事務局説明
 - (1) 天神川水系河川整備計画変更に向けたスケジュールについて、資料2にて説明
 - (2) 最近の河川事業に関する動向について、資料3にて説明
 - (3) 天神川水系河川整備計画（変更）（原案）の主な変更内容について、資料4～7にて説明
 - (4) 天神川水系河川整備計画（変更）（原案）への意見募集について、資料8にて説明

・質疑応答

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
資料1	—	意見なし	—
資料2	—	意見なし	—
資料3	—	意見なし	—
資料4,5	三輪委員	基本方針は変えずに整備計画のみ変更するのか。	現段階では基本方針は変更しない。今回は整備計画のみの変更。今後、基本方針の変更も進めていく。
	鶴崎委員	流量をあげることは理解した。その場合、コアジサシ、カワラハンオキ等の河口の環境を維持することは可能か。	河口部は流下能力が確保されており、維持掘削のみで水中の大規模な掘削はない。カワラハンノキには大きな影響はなく、コアジサシが利用する春から夏を避けるなど、環境に配慮する。
	小野委員	2度上昇するのはいつ頃のことか。	2040年～2050年と予測されている。
	安藤委員	回遊性魚類以外の魚類も堰を通過する。成魚だけではなく、稚魚も通過する。堰上下流の瀬淵等、幅をもった生息環境として捉えている。	ご指摘のとおり回遊性魚類以外も考える必要がある。堰管理者へのアドバイスや魚道設置を検討している県への情報提供をしながら管理していく。
	永松委員	砂防対策で土砂を出さないようにするのっぽうで礫河原再生を行うのは、どう実現するのか。	最近では透過型の砂防堰堤での整備を進めており、細かい土砂は下流に流すものとしている。

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
	福田委員	令和5年台風7号による出水で和田地区が床下浸水し、周囲が湖のようで逃げれない状況になったので、避難場所・経路の検討が必要。 大型の太陽光の整備による流出の増加に対し貯水池の容量が不足し、最近の水害の要因ではないかという住民意見がある。	内水については、自治体で排水ポンプ車により浸水被害を防いだり、避難路を嵩上げる等、対策を実施している。まちごとまるごとハザードマップ等のソフト対策にも取り組んでいる。これらは流域治水でも位置付けている。
	福田委員	土砂流出が水害の要因とも考えられ、河川整備と森林の保全・整備の連携が必要ではないか。	流域治水プロジェクトにおいて、治山や砂防、森林の保全・整備を位置づけ、森林の管理団体や林野庁とも連携しており、整備計画にも書き込んでいる。
	福田委員	カワウやサギが増えて魚類等の貴重種の生息に影響していないか。	個々の鳥による影響について書き込むことは難しい。
	吉田委員	カワウやサギが増えている状況にはない。漁協や県によりコントロールされており、通常の管理ができれば問題ない。	—
	道上委員	土砂と治水は密接な関係があり、天神川は通常の河川にはない砂防事業に取り組んでおり、よく対策しているほうである。	—
資料 6, 7	北村委員	流水の正常な機能の維持 (P. 16) で、1/10 濁水流量を計算すると約 1.8m ³ /s 程度となる。今後、温暖化の影響による濁水も懸念されるため、利水者に対して節水の取組を促す意味でも表現を修正してはどうか。	事務局で対応を確認させて頂く。
	鶴崎委員	動植物の重要種 (P. 20、21) の記載で、ニホンカワトンボ、アサヒナカワトンボが鳥取県のレッドブックに記載されているのは鹿野町周辺での話であり、天神川流域では一般的な種のため削除した方がよい。 また、カワラハンミョウが河口左岸に生息していると思われるため、追記すべき。	事務局で対応を確認させて頂く。
	永松委員	地形の記載ページ (P. 2) に、地形図 (P. 9) を追加すべき。	地形図を追加する。
	永松委員	河川環境の目標 (P. 40) で、グリーンインフラという言葉が本文中に追加すべき。	グリーンインフラという言葉を追記する方向で修正する。 事務局で対応を確認させて頂く。
	三輪委員	提供する多くの情報が有効に活用されるために、住民が情報を適切に判断し、避難行動に反映できるようなシステム作りが必要である。	事務局で対応を確認させて頂く。
	北村委員	資料-3 (P. 4) の霞堤保全に関する具体の取組は何か。資料-6 (本文) には霞堤保全に	霞堤の堤防整備は考えていない。現存する霞堤の機能を損なわないように維

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
		関する記述がないのではないか。	持管理を行っている。 資料-6（本文）への記載については、事務局で対応を確認させて頂く。
	北村委員	資料-3（P.4）のため池の事前放流対策について、資料-6（本文）にも記載する方がよい。	資料-6（本文）への記載については、事務局で対応を確認させて頂く。
資料 8	三輪委員	住民の意見はとりまとめて公表するのか。	次回の懇談会で公表を予定している。 HPでも見れるようにする。
	福田委員	河川事業は目に見えにくいため、もう少し広報を行い、事業の効果が住民にわかるようにアピールしてはどうか。	防災教育等の場で、情報発信等していきたい。

3. 閉会

- ・河川保全管理官 挨拶

【配布資料】

- 資料 1 第 7 回天神川河川整備懇談会 議事次第
- 資料 2 天神川水系河川整備計画（変更）【大臣管理区間】スケジュール（案）
- 資料 3 最近の河川事業に関する動向
- 資料 4 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】変更目標・整備メニュー（案）
- 資料 5 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（案）の主な変更内容
- 資料 6 天神川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）（案）
- 資料 7 天神川水系河川整備計画（現行）と天神川水系河川整備計画（変更）（原案）（案）
の本文対比表
- 資料 8 新聞折り込みチラシ